

新東名川西工事のICTフル活用へのチャレンジ

出展者名：清水建設株式会社



この取組は、ICTをフルに活用して工事管理の効率化・高度化を目指すもので、測量から設計・施工・検査・納品・維持管理まで、3次元データを一気通貫で活用します。

現場の可視化



工事管理の効率化



受発注者の情報共有



令和2年度 i-Construction大賞 優秀賞

新東名高速道路 川西工事の概要

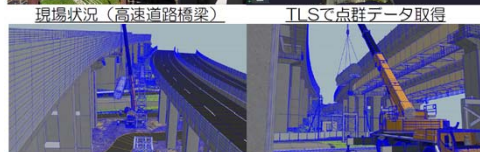
新東名高速道路川西工事は、神奈川県と静岡県の県境に位置する山北町区域で総延長2.6kmの高速道路を新設する工事です。大規模盛土とスマートインターチェンジ整備、トンネル構築を行う塩沢工区、長大のり面切土と橋梁下部工を構築する向原工区で構成されています。

工事場所	神奈川県足柄上郡山北町向原～川西
工 期	2016年7月22日～2023年4月16日
発 注 者	中日本高速道路株式会社 東京支社
施 工 者	清水建設・岩田地崎建設特定建設工事共同企業体

i-Construction大賞 優秀賞受賞技術

東名高速との離隔 70cm！
遠隔参加型VRを用いた施工検討の効率化・高度化

ベルコン架設工事を対象に、3次元施工シミュレーションとVRネットワーク技術を組み合わせ、遠隔地の専門家を含めた関係者のイメージ共有や事前のリスク洗い出しに活用。



3次元モデル（ベルコン架設作業のモデル化）

ICT-Full活用工事における取り組み例



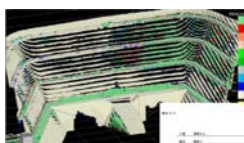
【測量】各種UAVによる3次元測量（点群取得）



【設計・数量】3次元総合モデル（設計モデル+測量データ）



【施工】マシンガイダンス重機による切土・盛土工



【検査】TLS・UAVによる出来形計測・帳票提出



【遠隔立会】遠隔立会による受発注者間の業務効率化



【納品】BIM360Docsによるデータ共有・納品